

表 ボルソナーロ新政権の発足後100日間における35の目標

行政分野	内容
農務省	家族農業プログラムの適格性認定の有効期限を2年に延長。
市民省	低所得者向け給付金制度(ボルサ・ファミリア)に関して13カ月目給付(正規労働者に与えられる年末特別給与に相当)を創設(1,400万家族が制度を享受)。若いアスリートを支援するアスリート基金(ボルサ・アトレッタ)の近代化。
科学技術・革新・通信省	半乾燥地域における土壌改善に向け脱塩技術試験センターの設立(北東部における半乾燥地域での飲料水供給の改善)。大学、公立学校における科学教育の強化。
地域開発省	特に北東部における水供給の改善に向けた、国家水資源安全保障計画の実施。
経済省	国家社会保障院(INSS)の給付金に関する不正受給の取り締まり。公的組織における特別任用ポスト2万1000の削減。貿易円滑化措置を通じた国際経済とのつながり強化。行政効率化措置の導入と公務員採用許可の連携。公的労働者登録制度である国家雇用システム(SINE)に関して、雇用促進を目的とした民間企業の登録促進。
教育省	識字率向上プログラムの実施。
インフラ省	交通部門の民営化による、鉄道、12の空港インフラへの投資拡大。10の港湾ターミナルの入札実施。
法務・安全保障省	武器所有の緩和措置。犯罪撲滅法案の提出。汚職捜査ラヴァジャット支援に関する法案の議会提出。
環境省	環境破壊に対する罰則制度など環境回復システムの改良。海洋投棄撲滅計画の策定。
鉱山・エネルギー省	ペトロブラスが2010年に連邦政府との間で一定量まで独占的に開発を認められた石油鉱区での産出に関して、余剰分の入札実施。
女性・家族・人権省	自殺、未成年者の自傷行為防止キャンペーンの実施。障がいを持つ人の人権を保障し社会包摂を進める法令の一部を制定。3万1,000の家族が実践している家庭教育に関する権利を制定。
外務省	メルコスールの関税削減。これまでブラジルで採用されてきたメルコスールの表記が表紙のパスポートをブラジルの共和国紋章に変更。
保健省	5種混合、ポリオ、肺炎球菌、ウィルス3種混合、黄熱病のワクチン接種拡大。
観光省	ブラジルへの投資増加を目的とした観光ビジネス環境改善(世界遺産観光管理政策の実施。連邦レベルでの観光管理制度の導入に向けた法整備。)
大統領府事務局	ブラジル放送公社(EBC)の再構築(組織の合理化と内容の付加価値化)。
大統領府事務総局	管理と公的資金利用に関する改善に向けた国家近代化。
連邦総監督庁	連邦政府の政治任用ポストの規定、基準の策定。学校教育での倫理、市民教育の強化に向けたプログラムの実施。連邦政府における汚職撲滅委員会の設置。行政における反汚職制度の設置。
連邦総弁護庁	連邦政府の債務者の負債支払い簡素化に向けた行政窓口の電子化。
中央銀行	中央銀行の独立性の確立。連邦銀行の経営者に対する基準作成。

(出所) 大統領府ウェブサイトおよび政府発表資料よりジェトロ作成

<http://www2.planalto.gov.br/acompanhe-o-planalto/noticias/2019/01/governo-lanca-plano-com-35-metas-para-os-primeiros-100-dias>